

ふじのつうきゅうだより



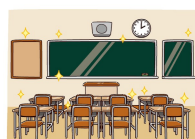
藤野通級指導教室

2026. 8. 28

第4号

2学期がスタートし、通級指導教室にも子どもたちの元気な声が戻ってきました。皆さん、充実した楽しい夏休みを過ごせたようですね。夏休み中に、用務員さんが指導室と保護者控室のワックスがけをしてくれました。ピカピカの教室で、2学期も楽しく学習していきましょう！保護者の皆様、2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

9 September



2026(令和8年)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
30	31	1	2	3	4	5 藤野小 地域公開日
6	7 振替 休業日	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21 敬老の日	22 憲法の日	23 秋分の日	24	25 十五夜	26
27	28	29 午後 指導 休止	30	1	2	3

※7日(月)は地域公開日の振替休業日でお休みです。

※29日(火)は、担当が大通高校通級指導教室見学研修のため、午後は指導休止になります。振替について相談させていただきますので、ご協力をお願いいたします。

○10月1日(木)から10月7日(水)の期間は指導を休止し、前期の懇談週間(二者懇談)を設定させていただきます。基本はお子さんの指導時間に実施させていただきますと思います。ご都合が悪い場合には、別途日時を相談させていただきますので、お知らせください。

○10月8日(木)、9日(金)に北海道言語障害児教育研究大会札幌大会が開催されます。そのため、年間予定表では、後期の指導開始日を10月8日(木)としていましたが、10月13日(火)より開始と変更させていただきます。振替について相談させていただきますので、ご協力をお願いいたします。

< つうきゅうコラム >

入試にICT 合理的配慮

他県ですが、公立高校入試で、情報通信技術（ICT）機器を用いた学習障害（LD）への**合理的配慮**として、**問題文の読み上げ**が許可され、志望校に合格した例が報告されています。配慮を受けたAさんは、「配慮があったから、みんなと同じスタートラインに立ち、入試に挑戦できた」と念願の高校生活を楽しんでいるそうです。

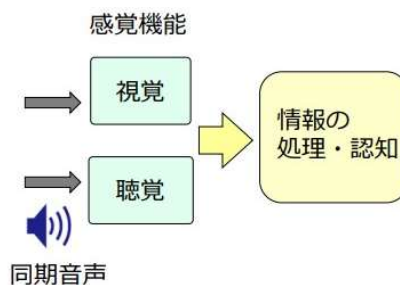
Aさんは、言葉で考えを伝える力や知能に問題はないが、読み書きは周囲の2、3倍の時間がかかり、激しい疲労や頭痛なども伴った。小学校3年生の時にLDの一つ、読み書き障害（ディスレクシア）と診断された。白地に黒い文字が見えにくいなどの困難もある。当時住んでいた静岡市で、LDを診断した医療機関からタブレット端末を用いた学習方法を教わった。読み書きの負担を減らせば授業内容を理解できると分かり、保護者が小学校と交渉。板書の写真撮影や一部のテストの読み上げ、文部科学省が無償配布する音声教科書などの利用が少しずつ認められるようになった。

「文字を書く作業がよかった。ようやく学びの意味が分かるようになった」とAさんは、当時を振り返っている。高校は県立高校1校と私立2校を受験。各校とも申し出に応じ、問題文読み上げのほか、パソコンでの解答入力、緑色の用紙利用、用紙の拡大などを許可した。Aさんは実力を発揮でき、私立の1校にも合格した。Aさんの次の目標は大学受験。福祉や教育の分野に関心があり、「障害特性を理解してもらえず困っている子どもは多い。たくさんの支援に助けられたから、私も支える側に立ちたい」と将来の夢を思い描いている。

マルチメディアデージー教科書とは



むかしは、私たちの村のちかくの、中山なやまというところに小さなお城があった。中山さまというおとこのさまが、おられたそうです。



ハイライトされた文字に同期して音声を再生できることで、視覚と聴覚の両方の感覚を使って教科書を読むことができるため、読むこと自体の負担が減って、自分の能力を内容理解等に使うことができます。

「読み書き障がい」についての合理的配慮が認知されるようになってきました。子どもの気持ちが楽になるように、学びが楽しくなるように、相談していきましょう。北海道でもこのような対応が進むと良いですね。懇談時にも気になることがありますら、お話しください。